

令和元年度宇治茶アカデミー開講

当所では、（公社）京都府茶業会議所^{※1}との共催により、宇治茶の生産、流通、加工商品製造、販売等に携わる担い手の経営力・発信力の向上、交流・連携の場作りを目的として、毎年宇治茶アカデミーを開講しています。6 年目となる今年度は、37 名の受講生を迎え、「経営向上に役立つ実践技術」をテーマに、全 5 回の講座を予定しています。

11 月 22 日には、第 1 回講座を開催し、「官能検査による茶の品質特性～品質の違いが生まれる要因は？～」をテーマに、官能検査^{※2}についての技術研修と、茶の特性を消費者に伝える表現方法についてのグループワークを実施しました。受講生からは、「同じ原料でも製造方法が少し違うだけで大きく違いがでることわかった」などの声が聞かれました。

第 2 回以降は、リニューアルした茶業研究所の施設を活用した技術研修、講演等を行い、宇治茶のイノベーションに繋がる人材づくりを進めます。

※1 京都府茶業会議所：宇治茶の生産者団体（京都府茶生産協議会）と、流通業者でつくる事業協同組合（京都府茶協同組合）を会員とする公益社団法人

※2 官能検査…人間の感覚（味覚、嗅覚など）を用いて品質を判定する検査のこと



官能検査に取り組む受講生

農林センター（茶業研究所）